

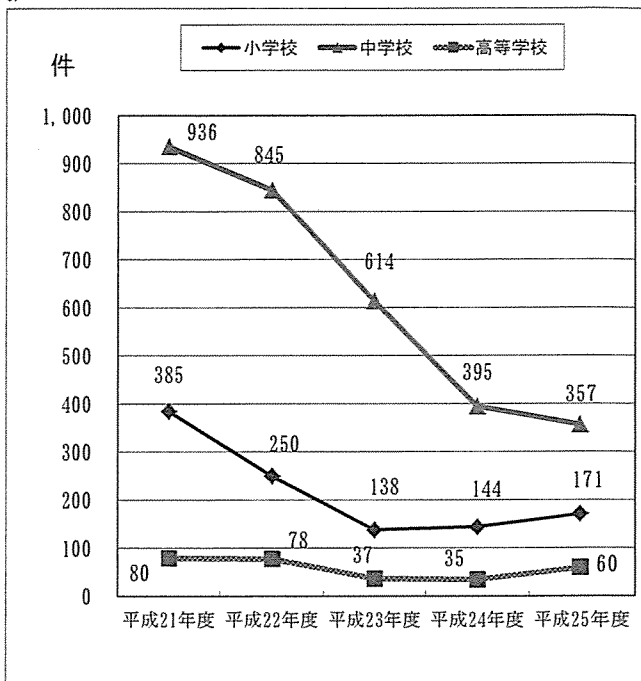
平成25年度  
「児童生徒の問題行動等  
生徒指導上の諸問題に  
関する調査」結果の概要

奈良県教育委員会

# 平成25年度 暴力行為の状況

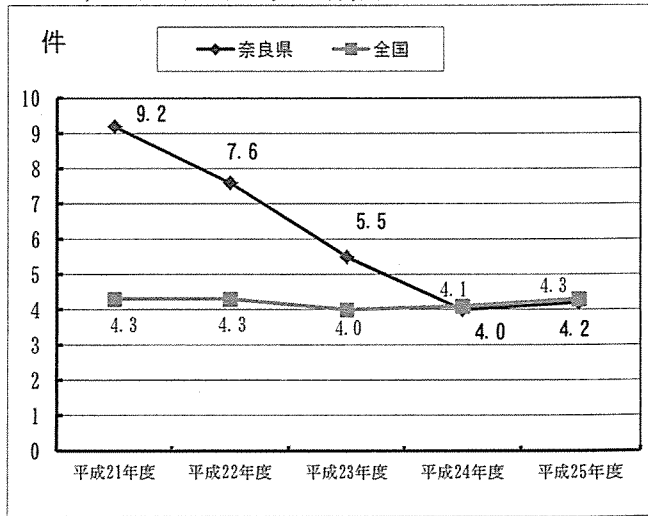
## 1 暴力行為の発生件数の推移（奈良県の公立学校）

	小学校		中学校		高等学校		合計	
	内	外	内	外	内	外	内	外
平成21年度	385		936		80		1,401	
平成22年度	250		845		78		1,173	
平成23年度	138		614		37		789	
平成24年度	144		395		35		574	
平成25年度	171		357		60		588	
校内外の別	内		外		内		外	
	159	12	327	30	51	9	537	51



## 2 全国との比較（国公私立小・中・高等学校合わせた1,000人当たりの発生件数）

	奈良県	全国
平成21年度	9.2	4.3
平成22年度	7.6	4.3
平成23年度	5.5	4.0
平成24年度	4.0	4.1
平成25年度	4.2	4.3



※ 平成25年度の公立小・中・高等学校合わせた1,000人あたりの発生件数は、全国が4.5件、奈良県が4.4件でした。

## 平成25年度 いじめの状況

### 1 いじめの認知件数（奈良県の公立小・中・高等学校）（件）

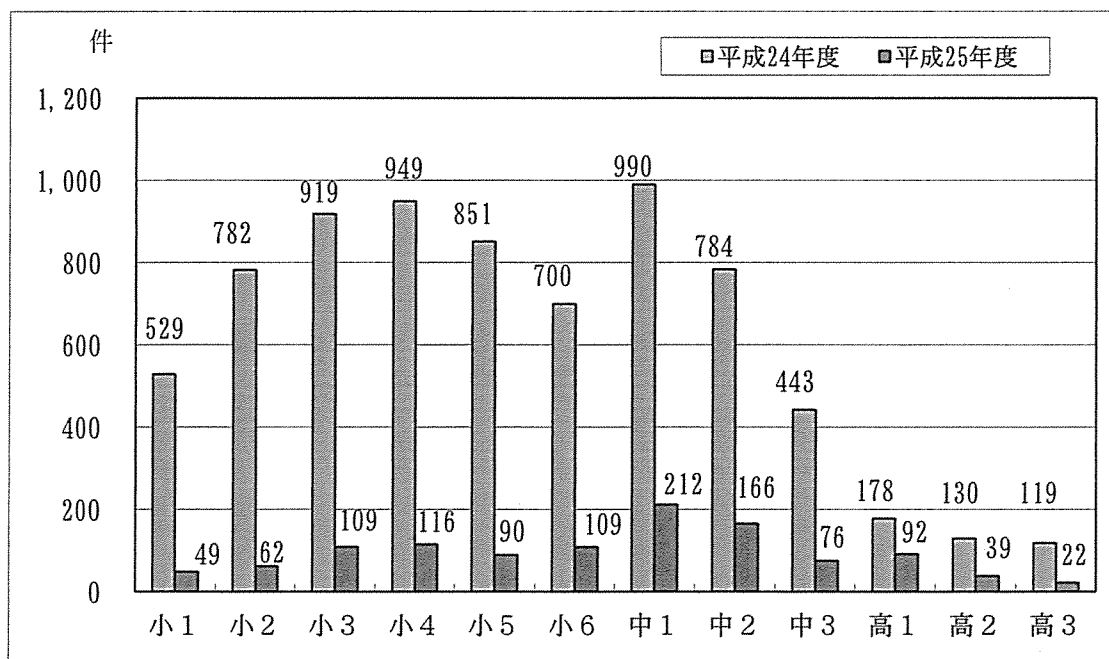
	小学校	中学校	高等学校	合計
平成21年度	155	248	24	427
平成22年度	128	164	32	324
平成23年度	102	142	28	272
平成24年度	4,730	2,217	427	7,374
平成25年度	535	454	153	1,142

※ 国立・私立・特別支援学校を除く

### 2 全国との比較（国公立小・中・高等学校合わせた1,000人当たりの認知件数）

	奈良県	全国
平成21年度	2.7	5.2
平成22年度	2.1	5.5
平成23年度	1.8	5.1
平成24年度	48.1	14.4
平成25年度	8.2	13.5

### 3 学年別いじめの認知件数（奈良県の公立小・中・高等学校）



## 4 いじめの態様（奈良県の公立小・中・高等学校）

（％）

区 分	年度	小学校		中学校		高等学校	
		奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国
冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	H25	69.5	63.2	63.0	67.8	56.9	61.2
	H24	63.9	63.1	64.8	66.9	65.3	64.4
仲間はずれ、集団による無視をされる	H25	18.3	21.9	21.4	17.1	20.3	17.0
	H24	26.0	23.3	26.1	18.6	24.4	18.7
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	H25	23.9	25.8	22.7	19.0	13.1	17.8
	H24	20.4	23.1	19.7	18.8	17.8	18.1
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする	H25	3.6	8.9	8.8	6.1	5.9	7.0
	H24	12.7	9.5	7.4	6.7	7.7	7.7
金品をたかられる	H25	1.3	2.8	1.5	1.7	1.3	4.1
	H24	5.4	3.3	3.4	2.4	3.3	4.3
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	H25	4.7	8.7	4.6	6.6	7.2	8.7
	H24	7.5	9.2	8.6	7.4	4.7	8.7
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	H25	4.3	8.9	5.7	7.0	7.2	9.3
	H24	8.4	9.4	6.1	7.3	5.6	9.5
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる	H25	0.9	1.4	9.3	8.6	20.3	19.1
	H24	1.1	1.4	7.0	5.6	13.6	14.7
その他	H25	3.6	4.9	5.9	3.6	5.2	4.9
	H24	3.8	4.3	5.7	3.1	6.3	4.8

※ 構成比は、各区分における認知件数に対する割合《複数選択可》

## 5 いじめの解消状況（奈良県の公立小・中・高等学校）

（％）

区 分	年度	小学校		中学校		高等学校	
		奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国
いじめが解消しているもの	H25	88.0	90.2	85.5	84.5	87.6	87.4
	H24	98.3	90.9	98.1	86.7	85.5	90.5
一定の解消が図られたが、継続支援中	H25	7.3	8.0	11.9	12.1	7.2	8.6
	H24	1.4	6.9	1.4	10.1	9.6	6.0
解消に向けて取組中	H25	4.5	1.6	1.8	3.1	2.0	2.5
	H24	1.4	6.9	1.4	10.1	9.6	6.0
その他	H25	0.2	0.2	0.9	0.3	3.3	1.5
	H24	0.1	0.2	0.1	0.4	2.1	1.4

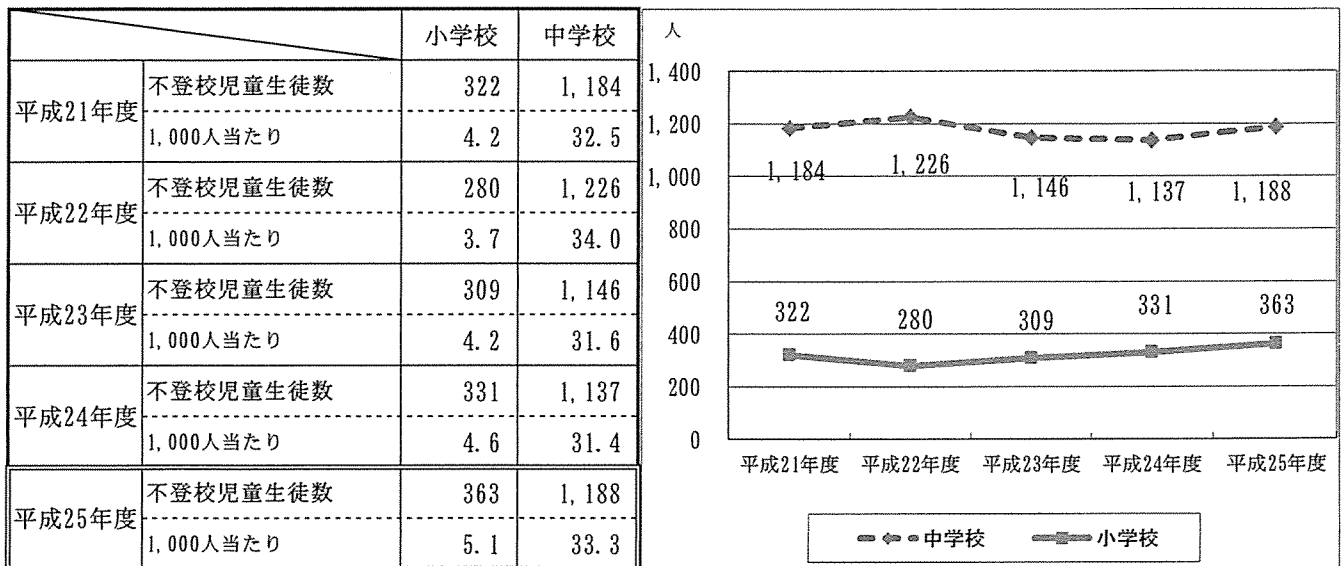
## 平成25年度 小学校・中学校における不登校児童生徒の状況(年間30日以上)

### 1 1,000人当たりの不登校児童生徒数の推移 (国公立小・中学校)

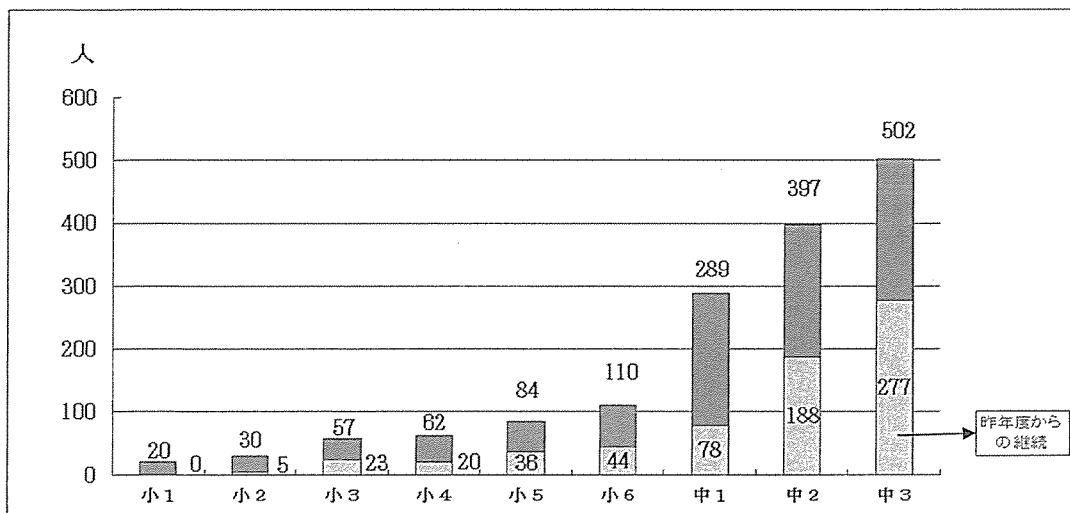
	小学校		中学校		小・中学校	
	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国
平成21年度	4.1	3.2	29.5	27.7	13.0	11.5
平成22年度	3.6	3.2	30.8	27.3	13.1	11.3
平成23年度	4.1	3.3	28.7	26.4	12.8	11.2
平成24年度	4.5	3.1	28.9	25.6	13.2	10.9
平成25年度	5.0	3.6	30.8	26.9	14.3	11.7

### 2 奈良県の公立小学校・中学校における不登校児童生徒の状況等

#### (1) 不登校児童生徒数の推移



#### (2) 学年別不登校児童生徒数



## (3) 不登校となった直接のきっかけと考えられる状況

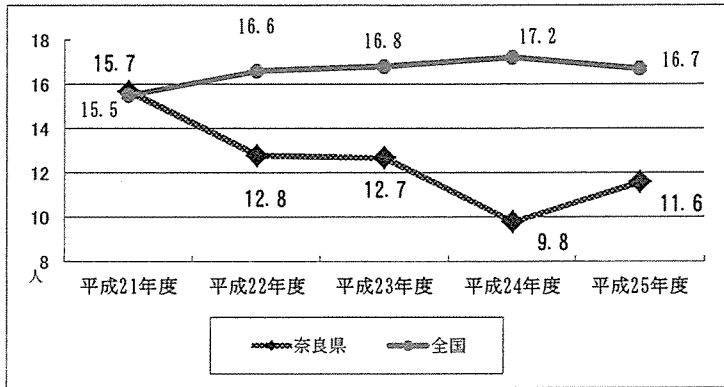
		小学校(人)	比率(%)	中学校(人)	比率(%)	合計(人)	比率(%)
学校に係る状況	いじめ	9	2.5	20	1.7	29	1.9
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	30	8.3	167	14.1	197	12.7
	教職員との関係をめぐる問題	8	2.2	16	1.3	24	1.5
	学業の不振	28	7.7	94	7.9	122	7.9
	進路にかかる不安	0	0.0	11	0.9	11	0.7
	クラブ活動、部活動等への不適応	0	0.0	40	3.4	40	2.6
	学校のきまり等をめぐる問題	1	0.3	21	1.8	22	1.4
	入学、転編入学、進級時の不適応	5	1.4	21	1.8	26	1.7
家庭に係る状況	家庭の生活環境の急激な変化	33	9.1	56	4.7	89	5.7
	親子関係をめぐる問題	72	19.8	111	9.3	183	11.8
	家庭内の不和	16	4.4	33	2.8	49	3.2
本人に係る状況	①病気による欠席	42	11.6	78	6.6	120	7.7
	②あそび・非行	1	0.3	154	13.0	155	10.0
	③無気力	76	20.9	303	25.5	379	24.4
	④不安など情緒的混乱	112	30.9	254	21.4	366	23.6
	⑤意図的な拒否	16	4.4	48	4.0	64	4.1
	上記①～⑤に該当しない本人に関わる問題	4	1.1	15	1.3	19	1.2
	その他	16	4.4	31	2.6	47	3.0
不明	14	3.9	34	2.9	48	3.1	
計	483		1,507		1,990		

※ 構成比は、各校種における不登校児童生徒数に対する割合《複数選択可》

# 平成25年度 高等学校における不登校

## 1 1,000人当たりの不登校生徒数の推移（国公私立高等学校）

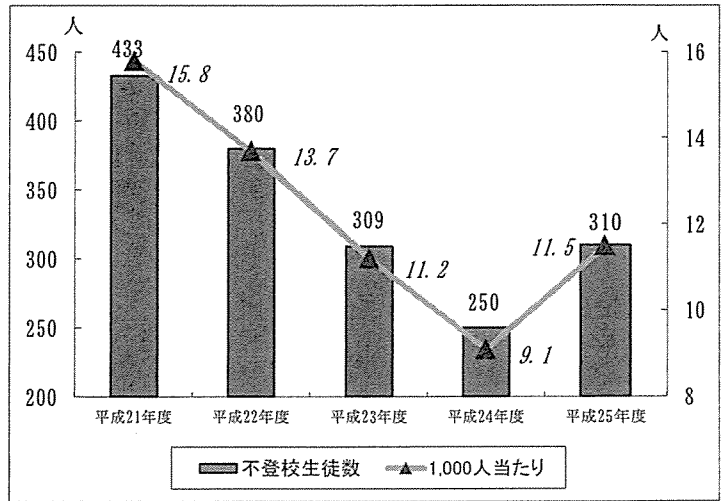
年度	奈良県	全国
平成21年度	15.7	15.5
平成22年度	12.8	16.6
平成23年度	12.7	16.8
平成24年度	9.8	17.2
平成25年度	11.6	16.7



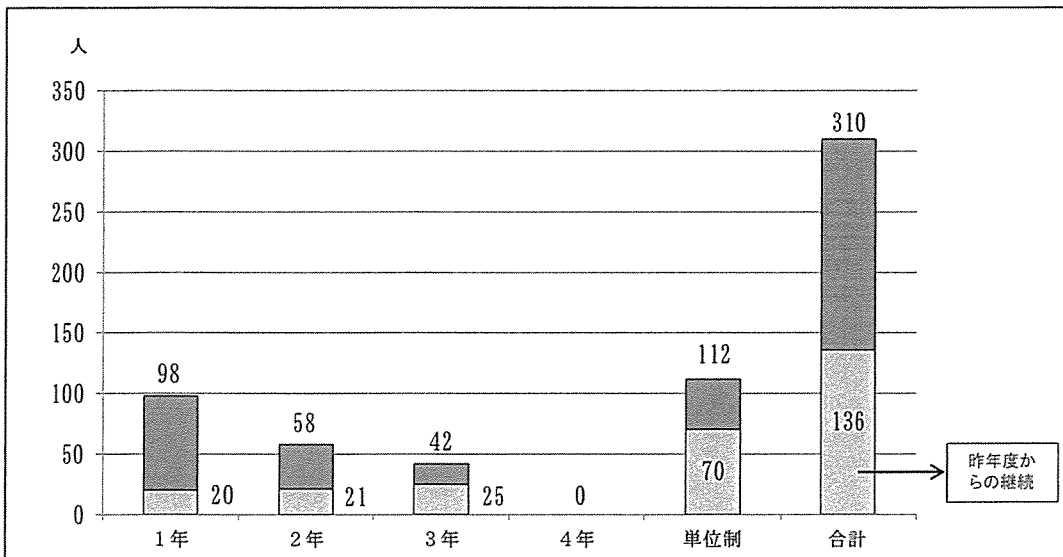
## 2 奈良県の公立高等学校における不登校生徒の状況等

### (1) 不登校生徒数の推移

年度	不登校生徒数等	高等学校
平成21年度	不登校生徒数	433
	1,000人当たり	15.8
平成22年度	不登校生徒数	380
	1,000人当たり	13.7
平成23年度	不登校生徒数	309
	1,000人当たり	11.2
平成24年度	不登校生徒数	250
	1,000人当たり	9.1
平成25年度	不登校生徒数	310
	1,000人当たり	11.5



### (2) 学年別不登校生徒数



(3) 不登校となった直接のきっかけと考えられる状況

		生徒数(人)	比率(%)
学校に係る状況	いじめ	2	0.6
	いじめを除く友人関係をめぐる問題	27	8.7
	教職員との関係をめぐる問題	3	1.0
	学業の不振	16	5.2
	進路にかかる不安	25	8.1
	クラブ活動、部活動等への不適應	8	2.6
	学校のきまり等をめぐる問題	7	2.3
	入学、転編入学、進級時の不適應	11	3.5
家庭に係る状況	家庭の生活環境の急激な変化	23	7.4
	親子関係をめぐる問題	27	8.7
	家庭内の不和	5	1.6
本人に係る状況	①病気による欠席	12	3.9
	②あそび・非行	58	18.7
	③無気力	45	14.5
	④不安など情緒的混乱	49	15.8
	⑤意図的な拒否	5	1.6
	上記①～⑤までのいずれにも該当しない、本人に関わる問題	5	1.6
	その他	2	0.6
不明	6	1.9	
計	336		

※ 構成比は、不登校生徒数に対する割合《複数選択可》



平成25年度 県立高等学校中途退学者数集計表(全日制)

1 中途退学者数(学年別・事由別)

事由	学年	学校生活・学業不適応				進路変更	問題行動	小計	病気が	経済的	家庭	その他	小計	合計
		もととも 高校生活 に熱意が ない	授業に興 味がわか ない	人間関係 がうまく 保てない	学校の雰 囲気があ わない									
事由別 中退者数	1年	4	21	4	11	133	9	213	9	1	6	0	16	229
	2年	3	0	5	4	43	0	59	5	3	2	2	12	71
	3年	0	0	0	3	17	0	22	1	0	2	1	4	26
事由別率		7	85				193	294	15	4	10	3	32	326
		2.1%	26.1%				59.2%	90.2%	4.6%	1.2%	3.1%	0.9%	9.8%	100.0%

2 事由別中途退学者数推移表

事由 年度	学業不振	学校生活・学業不適応				進路変更	問題行動	小計	病気が	経済的	家庭	その他	小計	合計	退学率 (%)	学年別			生徒総数
		もととも 高校生活 に熱意が ない	授業に興 味がわか ない	人間関係 がうまく 保てない	学校の雰 囲気があ わない											その他	1年	2年	
平成21	22	41	16	10	17	25	1	339	14	2	3	0	19	358	1.44	234	97	27	24,866
		109														65.4%	27.1%	7.5%	
平成22	18	44	29	9	22	26	6	332	17	7	12	0	36	368	1.47	242	106	20	25,078
		130														65.8%	28.8%	5.4%	
平成23	22	30	45	8	27	34	4	325	13	3	6	1	23	348	1.40	230	89	29	24,938
		144														66.1%	25.6%	8.3%	
平成24	7	28	22	3	20	34	7	275	18	7	6	1	32	307	1.24	200	75	32	24,820
		107														65.1%	24.4%	10.4%	
平成25	7	21	26	8	16	14	9	294	15	4	10	3	32	326	1.33	229	71	26	24,432
		85														70.2%	21.8%	8.0%	

## 〔状況〕

### 1 暴力行為

暴力行為は、対教師暴力、生徒間暴力、器物損壊、対人暴力の4形態で調査している。平成25年度の本県の公立小・中・高等学校合わせた暴力行為の発生件数は、588件（前年度比14件増）であった。また、本県の国公立小・中・高等学校合わせた児童生徒1,000人あたりの暴力行為の発生件数は、4.2件（前年度比0.2ポイント増）であった。

公立小学校では171件（前年度比27件増）で、児童1,000人あたりの暴力行為の発生件数は、2.4件（前年度比0.4ポイント増）であった。

公立中学校では357件（前年度比38件減）で、生徒1,000人あたりの暴力行為の発生件数は、10.0件（前年度比0.9ポイント減）であった。

公立高等学校においては60件（前年度比25件増）で、生徒1,000人あたりの暴力行為の発生件数は、2.2件（前年度比0.9ポイント増）であった。

### 2 いじめ

本県の公立学校における平成25年度のいじめの認知件数は、小学校では535件（前年度比4,195件減）、中学校では454件（前年度比1,763件減）、高等学校では153件（前年度比274件減）となった。

また、本県の国公立小・中・高等学校合わせた児童生徒1,000人あたりのいじめの認知件数は、8.2件（前年度比39.9ポイント減）であり昨年度より大幅に減少した。

いじめの態様は、小・中・高等学校ともに共通して、「冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が最も多く、小・中では次いで「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする」、「仲間はずれ、集団により無視をされる」、の順であり、高等学校では2番目に「仲間はずれ、集団により無視をされる」と「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる」が同順である。

いじめが解消しているものは、小学校では88.0%、中学校では85.5%、高等学校では87.6%である。

#### 参考 いじめの定義

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立って行うものとする。

「いじめ」とは、「当該児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人間関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

「いじめ」の中には、犯罪行為として取り扱われるべきと認められ、早期に警察に相談することが重要なものや、児童生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような、直ちに警察に通報することが必要なものが含まれる。

これらについては、教育的な配慮や被害者の意向への配慮のうえで、早期に警察に相談・通報の上、警察と連携した対応を取ることが必要である。

### 3 小学校・中学校における不登校児童生徒の状況について

－30日以上欠席し、理由が経済的理由、病気等でないもの－

#### 〈国公立小学校・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数〉

本県における、平成25年度の国公立小・中学校における1,000人当たりの不登校児童生徒数は、小学校が5.0人（前年度比0.5ポイント増）、中学校が30.8人（前年度比1.9ポイント増）、合わせて14.3人（前年度比1.1ポイント増）であった。なお、全国の小・中学校では11.7人となっている。

#### 〈公立小学校・中学校における不登校児童生徒数〉

本県における、平成25年度の公立小・中学校における不登校児童生徒数は、小学校363人、中学校が1,188人であった。

#### 〈公立小学校・中学校における不登校児童生徒の前年度からの継続の状況〉

小学校においては、不登校児童のうち、37.3%が前年度からの継続であり、中でも、3年生・5年生・6年生は4割以上が前年度からの継続である。

また、中学校においては、学年が進むに従って前年度から継続した不登校の生徒が増加する。3年生では5割以上が前年度からの継続である。

#### 〈公立小学校・中学校における不登校の直接のきっかけ〉

小学校では①「不安など情緒的混乱」（30.9%・前年度32.3%）

②「無気力」（20.9%・前年度16.9%）

③「親子関係をめぐる問題」（19.8%・前年度25.1%）

中学校では①「無気力」（25.5%・前年度22.5%）

②「不安など情緒的混乱」（21.4%・前年度23.5%）

③「いじめを除く友人関係をめぐる問題」（14.1%・前年度13.4%）

の順となっている。

### 4 高等学校における不登校

本県における、平成25年度の公立高等学校（全日制・定時制課程）における不登校の生徒数は310人であった。全日制における不登校生徒数は199人で前年度より10人増加した。学年別では1年生が93人と最も多かった。

定時制課程の不登校生徒数 111人で前年度より50人増加した。

公立高等学校（全日制・定時制課程）における不登校の直接のきっかけについては、

①「あそび・非行」（18.7%）

②「不安など情緒的混乱」（15.8%）

③「無気力」（14.5%）

の順となっている。

### 5 高等学校における中途退学

平成25年度の県立高等学校（全日制課程）における中途退学者は、326人で、前年度に比べ19人増加し、中途退学率も0.09ポイント増加し1.33%であった。

中途退学者の学年別割合では、1年生が70.2%、2年生が21.8%、3年生が8.0%であり、1年生の割合が前年度比に比べ5.1ポイント増加した。

また、事由別では、①進路変更59.2%（前年度50.2%）

②学校生活・学業不適応26.1%（前年度34.9%）

③病気・けが4.6%（前年度5.9%）の順となっている。